



春を待ちながら…

今、振り返りのとき さあ、ラストスパートです！

寒い日が続いていますが、少しずつ春の足音が聞こえてくる季節となりました。子供たちは、進級や卒業に向けて、それぞれの歩みを進めています。

もうすぐ、今の学年が終わり、ひとつ上の学年へと進む時がやってきます。うれしい気持ちとともに、「ちゃんとできるかな？」とドキドキしている子もいるかもしれませんね。

2月は、1年のまとめと次のステップへの準備の時期です。「できるようになったこと」「がんばったこと」を振り返りながら、「これからの自分」に目を向けていけるよう、子供たちに声をかけていきたいと思います。

☀️ ～アンパンマンの作者、やなせたかしさんの言葉～ ☀️

「本当の勇気っていうのはね、こわいなんて思っても、

がんばって一歩踏み出すことなんだよ。」

勇気とは、何かに立ち向かうことだけではありません。自分の気持ちに負けずに、少しずつ前に進むこともまた、立派な勇気です。

春はもうすぐそこ。みんなの中にある「小さな勇気」が、きっと大きな力になりますように。

新しいことにチャレンジするとき、誰でもドキドキするものです。でも、「こわいな」と思いながらも前に進もうとする気持ちこそが、本当の「勇気」なのかもしれません。子供たちが自分のペースで一歩ずつ成長していけるよう、私たち大人もそっと背中を押していきたいですね。

3学期が始まってから約1か月。各学年では、さまざまな学習活動に取り組んでいます。

1・2年生は、生活科の学習で「おみせやさんごっこ」に向けて、それぞれが自分のお店にこだわりを持ち、準備を進めています。こども園の子供たちを招待する予定です。総合的な学習の時間で、3年生は日頃お世話になっている地域の方々に喜んでもらいたいと、芦原文化会館の清掃を一生懸命に行いました。4・5年生はお菓子の魅力を伝える活動に意欲的に取り組んでいます。アンジェリークのお店の方と一緒にお菓子づくりをする予定で、子供たちは今から楽しみにしています。また、5年生は広瀬小学校との交流を通して、親睦を深めました。6年生は和歌山の海の魅力を伝えることで、海ごみを減らし、海の環境を守るために、どのようなメッセージを、どこで、どのように伝えるかをみんなで考え合っています。

学校全体がまとめの時期に入り、6年生は卒業に向けてのカウントダウンが始まっています。

芦原小学校の子供たちに身につけてほしい「基礎・基本の3つの力」は、「学力」「体力」「コミュニケーション力」です。特に、「コミュニケーション力」は、子供たちが日々を楽しく過ごすために欠かせない大切な力です。コミュニケーションの基本は「あいさつ」。自分から進んで自然にあいさつができる子供たちであってほしいと願っています。そして、人と人を温かく結びつけてくれる「ありがとう」の言葉があふれる学校でありたいと考えています。

この一年を通して、学校目標である「豊かな心を持ち、自ら正しく判断して行動する子どもを育てる」ために、職員一人一人が努力してきました。今、改めてその歩みを振り返り、どれだけ目標に近づけたかを見つめ直し、次年度へとつなげていきたいと思っています。



寒い日でも、子供たちの笑顔はぼかぼかとあたたかいです。ただし、体調を崩しやすい時期でもありますので、引き続き「手洗い・うがい・十分な睡眠」を心がけましょう。

また、インフルエンザや感染症の予防のため、マスクの着用や換気など、体調管理にはより一層の注意が必要です。

残り少ない今学年の毎日を、子供たちとともに大切に過ごしていきたいと思っています。